

自由民主党要望項目一覧

平成26年度11月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>1 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会について</p> <p>11月3日に閉幕する第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会の成果を活かして、共生社会の実現を目指し、「あいサポート運動」の推進をはじめとした障がい者施策の充実を図ること。</p>	<p>第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会の開催を契機として、鳥取県内の障がい者の芸術文化活動が活発になるとともに、障がい者の舞台発表及び美術作品の鑑賞、障がい者との交流等により、障がい者に対する理解が進んだところであり、今後についても、障がい者が芸術文化活動に取り組んでいくために必要な環境整備及び障がい者に対する理解促進をはじめとした共生社会の実現に向けた施策の充実について、平成27年度当初予算において検討する。</p>
<p>2 山陰海岸ジオパークについて</p> <p>9月23日に再認定された山陰海岸ジオパークの一層の環境整備を行うとともに、来年9月に山陰海岸ジオパークで開催される第4回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウムの成功に向け、取組の強化と気運の醸成を図ること。</p>	<p>再認定審査の際の審査員からのコメント等を踏まえ、11月補正予算により、ロゴマークをつけた山陰海岸ジオパークの案内標識等の県道への設置や、ジオパークの魅力をPRするためのロングトレイルルートの情報発信の取組を行うなど環境の整備を充実することを検討している。</p> <p>また、第4回アジア太平洋ジオパークネットワークシンポジウム（APGN）の成功に向け、11月補正予算により、鳥取環境大学と連携したイベントとしてシンポジウムの開催を検討している。</p> <p>【11月補正】山陰海岸世界ジオパークネットワーク推進事業 8,600千円 [債務負担行為 3,000千円]</p>
<p>3 原子力防災対策費について</p> <p>原子力防災対策に関して、職員人件費をはじめ、約1億円（平成25年度決算額）の経費を支出している。周辺自治体の原子力防災対策に係る経費は、本来、国及び電気事業者が措置すべきものであり、引き続き、国及び中国電力に対して、経費負担を強く求めること。</p>	<p>原子力防災対策を実施する上で必要となる人件費等の負担について、平成26年10月20日に中国電力に申入れを行ったところであり、今後事務方で協議を進めることとした。</p> <p>また、国及び電力会社が周辺自治体に対しても応分の負担を行う仕組みを早急に構築するよう、国に要望することとしている。</p>
<p>4 公務員獣医師について</p> <p>近年、公務員獣医師の責務が増大する一方で、全国的に公務員獣医師の人材確保が課題となっている。鳥取県も同様な状況であり、また、今年度の鳥取大学農学部獣医学科の入学生の中に県出身者がいないという状況を鑑みると、今後、一層、県職員獣医師の人材確保が困難となることが懸念される。</p> <p>については、鳥取大学と連携して、農学部獣医学科に県出身者枠が設置できるよう、検討を進めること。</p>	<p>鳥取県公務員獣医師の人材確保については、課題であると認識しており、近年は県職員獣医師の鳥取大学の県出身者が減っていることから、県出身者枠の設置について11月7日に鳥取大学農学部と話をしたところである。今後も、鳥取大学と共に課題を共有し検討を進めていく。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
5 エボラ出血熱について	
<p>西アフリカで流行しているエボラ出血熱については、米国、スペインでも感染者が確認されるなど、感染が拡大しており、国内発生も懸念されている。</p> <p>については、県民に対して、エボラ出血熱の正しい知識等を適切に情報提供するとともに、エボラ出血熱の感染者の発生に備えて、第1種感染症指定医療機関である厚生病院の医療設備・体制の強化等、国及び医療機関と連携して、万全かつ迅速な対策を講じること。</p>	<p>平成26年9月8日にエボラ出血熱対応マニュアルを策定するとともに、8月27日及び10月30日に医療関係者等連絡会議を開催し、エボラ出血熱が国内又は県内で発生した場合の対応方針を確認したところである。</p> <p>また、厚生病院は、県内唯一の第1種感染症指定医療機関として二次感染防止のための陰圧空調等各種設備を備えた2床の専用病室を有し、医療従事者用の個人防護具も配備している。診療には感染制御の認定医等が当たることとしているほか、患者の搬入訓練や受入手順の確認・個人防護具の脱着訓練も行っている。</p> <p>今後とも、県民に対して適切な情報提供を行うとともに、厚生病院や保健所等の装備品の充実や個人防護具の脱着等の実践的な訓練を通じて、対策の充実を図っていく。</p>